

## 日程第2 議案第30号

市指定文化財候補の調査実施に係る熊谷市文化財保護審議会への諮問について

このことについて、別添のとおり、熊谷市文化財保護審議会へ諮問する。

## 文化財指定に向けた調査について

## 1 中西遺跡出土土偶

- (1) 種別・種類 有形文化財・考古資料
- (2) 所在地 熊谷市千代3 2 9番地（江南文化財センター）
- (3) 保管・管理者 熊谷市教育委員会
- (4) 概要 山形及びミミズク系統の土偶が、主に遺物包含層から51個体出土した。時期は、縄文時代後期中葉から晩期中葉までのものである。県内では、土偶が当該期間を通して大量に出土した事例はなく、その特徴も含めて極めて重要であることから、総合的に調査を実施する。

## 2 前中西遺跡出土石戈

- (1) 種別・種類 有形文化財・考古資料
- (2) 所在地 熊谷市千代3 2 9番地（江南文化財センター）
- (3) 保管・管理者 熊谷市教育委員会
- (4) 概要 本例は、ほぼ全形の分かる優品であり、「樋」に複合鋸歯文が描かれた石戈としては、全国初の事例である。なお、当遺跡出土の弥生時代の遺物については、当地域の弥生文化を特徴づける他の遺物との一括指定も検討課題となることから調査を実施する。

## 3 諏訪木遺跡出土土偶形容器

- (1) 種別・種類 有形文化財・考古資料
- (2) 所在地 熊谷市千代3 2 9番地（江南文化財センター）
- (3) 保管・管理者 熊谷市教育委員会
- (4) 概要 土偶形容器は、顔面の一部（顎）が欠損するが、ほぼ全形の分かる県内初の事例である。共伴遺物として弥生時代中期末の壺がほぼ完形で出土しており、土偶形容器の時期を特定しうる資料として同時指定の検討とともに調査を実施する。

## 4 立野古墳群第1 2号墳出土遺物

- (1) 種別・種類 有形文化財・考古資料
- (2) 所在地 熊谷市千代3 2 9番地（江南文化財センター）
- (3) 保管・管理者 熊谷市教育委員会
- (4) 概要 立野古墳群第1 2号墳では、主体部から7世紀後半の金銅製の杏葉2点、鉸具1点、円頭柄頭1点、須恵器長頸瓶1点、鉄鏃などが出土している。杏葉については、花卉形で毛彫による文様が施され、県内唯一の毛彫馬具である。これら全体像の把握に向けて調査を実施する。

## 5 西別府廃寺出土遺物（仏教関連遺物）

- (1) 種別・種類 有形文化財・考古資料
- (2) 所在地 熊谷市千代3 2 9番地（江南文化財センター）
- (3) 保管・管理者 熊谷市教育委員会
- (4) 概要 西別府廃寺は、奈良時代から平安時代にかけての幡羅郡家付属の寺院である。指定候補の出土遺物には、軒丸瓦、軒平瓦、塼、瓦塔・瓦堂、須恵器仏鉢形土器、墨書土器、三彩小壺、角釘、刀子、羽口などの仏教関連遺物があり、西別府・安楽寺所蔵の市指定文化財「古瓦」との関連と併せて調査を実施する。

## 6 長慶寺薬師堂

- (1) 種別・種類 有形文化財・建造物
- (2) 所在地 熊谷市西城
- (3) 所有者 宗教法人長慶寺93-1番地
- (4) 概要 長慶寺境内の薬師堂は元文4年(1739)の墨書が内陣格天井にあり、妻沼聖天山本殿「歓喜院聖天堂」などを手掛けた林兵庫正清及び彫刻を統括した石原吟八郎の銘が残されている。聖天堂建立期の建造物として、同地域における建築史を知る上で貴重と考えられることから調査を実施する。

## 7 旧熊谷堤

- (1) 種別・種類 記念物・史跡
- (2) 所在地 熊谷市万平町1丁目1番地
- (3) 所有者 熊谷市・万平町自治会ほか
- (4) 概要 旧国指定名勝である「熊谷堤」は昭和時代においてその大半が削平された。万平公園の堤上には熊谷堤の突堤となった「万平出し」を建立した竹井澹如を顕彰する市指定文化財「竹井澹如翁碑」や熊谷地域の養蚕文化に関連する「蚕霊塔」などが設置されており、旧熊谷堤の関連資産として総合的な調査を実施する。

## 8 日本聖公会北関東教区熊谷聖パウロ教会

- (1) 種別・種類 記念物・史跡
- (2) 所在地 熊谷市宮町1-193番地
- (3) 所有者 日本聖公会北関東教区
- (4) 概要 日本聖公会北関東教区熊谷聖パウロ教会は、大正8年(1919)、米国人設計家ウィリアム・ウィルソンの設計により、煉瓦造りの教会が完成した。関東大震災及び熊谷空襲からの被害から免れた歴史とともに、北関東の近代キリスト教信仰の黎明期の動向を明らかにする遺産と考えられることから、その文化史的価値を含む調査を実施する。